

まちの話題 Report!



希望の道を、つなごう。 東京2020オリンピック 聖火リレー

7月23日に開幕した東京2020オリンピックを前に、7月5日に市内を聖火が駆け巡りました。

古河市在住の野底愛さんをはじめとした9人のランナーが走行。県内2日目のスタート地となった古河市では、古河駅西口おまつり広場で出発式が行われ、古河第二高等学校ダンス部が会場を盛り上げました。

聖火は、沿道に並んだ観衆の拍手に包まれながら市役所古河庁舎に到着し、坂東市へとつながりました。



▲満開のキスゲ園を思い思いに楽しむ来園者

初夏の公園を鮮やかに彩る ネーブルパークの キスゲ園が満開

6月下旬から7月中旬まで見頃を迎えるキスゲ。一つ一つの花の寿命は1日と短命ですが、1つの株で10～30の花を付け、順に咲いていくことにより長い期間花を楽しむことができます。

サンワ設計ネーブルパークのキスゲ園では、2,500平方メートルに約4,000本が植栽されており、今年も色鮮やかなキスゲが元気に花を咲かせ、来園者の目を楽しませていました。

焼き上がりが楽しみ 障がい者ものづくり教室

7月10日、中田公民館で障がい者ものづくり教室の陶芸体験教室が開かれました。第1回となる今回はお面作りを実施。お地蔵様やお孫さんの顔などをモデルに自由に作成しました。

参加者からは「久しぶりに土遊びをして楽しかった」などの声が聞かれ、和やかな雰囲気の中、思い思いの作品を作っていました。



▲お面に模様を付ける参加者

科学の不思議を楽しく学ぶ ふわふわスライムと キラキラスライムをつくらう



▲色とりどりのスライムに目を輝かせる子どもたち

6月20日、スペースU古河で2種類のスライム作り体験教室が開催されました。26人の子どもたちが参加し、身近にある材料を使い、液体が固体に変わっていく不思議な現象を体験。

自分だけのスライムを完成させた子どもたちからは「きれいな色のスライムができた」「家でもまた作ってみたい」という声が聞かれました。